

看護政策論

ナンバリング:N4-S2-J14

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

看護制度と看護サービスの関連について学び、看護政策の基本的な考え方を学修する。また、地域看護活動の基盤となっている保健医療福祉行政の現状と課題について理解を深める。そして、制度が創られてきた政策過程を学修することにより政策的思考を身に付ける。具体的には、これまでの看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題を明確にし、その課題と関連する制度の理解を深め、制度を変革する過程で必要となる政治、行政および団体などの社会の力動関係を学修する。そして課題解決策について、社会的制約や妥協点を考え、実現可能な提言をまとめることにより、制度を変革するための基本的な考え方を身に付ける。
--

・教育成果(アウトカム)

国民のニーズに応じた質の高い看護を提供する観点から、看護職が政策過程に関わる意義について理解できる。また、国や自治体における保健医療福祉施策の現状と課題を俯瞰することで、看護職が政策過程に関わる実際について説明できる。さらに、看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題について制度と関連づけて説明することができる。そして、看護サービスの課題を解決するプロセスを踏まえた政策提案を考えることを通して、新たな課題に対応する能力を獲得することができる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身に付ける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 国民のニーズに応じた社会の動向や特性を説明できる。 2. 看護職が政策過程に関わる意義について列挙することができる。 3. 行政機関における政策過程の実際と看護職の関わりについて説明できる。 4. 看護サービスの課題解決に向けた対応方法を自らの力だけでなく他者と協力して見出すことができる。

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/10 火 3限	【授業内容】我が国における看護政策および政策過程 ・政策に影響を与える諸団体の活動について説明できる ・看護職者が政策過程に関わる意義について述べるができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修：160分】日本看護連盟のHPにある「日本看護連盟ハンドブック」を読み、事業と実績、政策実現のための活動について学修する 【事後学修：60分】日本における看護政策および政策過程についてまとめる	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
6/10 火 4限	【授業内容】看護サービスの課題と制度 ・身近な看護サービスの課題について制度を関連づけることができる 【関連するSBO】2、3 【事前学修：60分】日本看護協会が掲げている「重点政策・事業」について学修する 【事後学修：160分】実習等を通して感じた看護サービスの課題をまとめ提出する：課題レポート①	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
6/17 火 1限	【授業内容】都道府県における政策 ・都道府県における看護職に関わる政策過程について説明できる 【関連するSBO】1、2、3 【事前学修：150分】岩手県の医療制度や看護師確保対策に関する取り組みについて学修する 【事後学修：60分】都道府県における看護職に関わる政策過程についてまとめる	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師

6/20 金 3限	【授業内容】看護サービスにおける課題解決と提案：グループワーク ・課題を解決するためのプロセスを踏まえた提案を考えることができる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修：160分】実習を通して感じた看護サービスの課題をまとめる 【事後学修：60分】グループワークの内容を振り返り気づいたことをまとめる	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
6/20 金 4限	【授業内容】看護サービスにおける課題解決と提案：グループワーク ・課題を解決するためのプロセスを踏まえた提案を考えることができる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修：160分】実習を通して感じた看護サービスの課題をまとめる 【事後学修：60分】グループワークの内容を振り返り気づいたことをまとめる	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
6/27 金 3限	【授業内容】看護職が参画する政策の実際 ・岩手県の看護師確保対策に関する医療現場での具体的な取り組みについて説明できる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修：160分】岩手県の医療制度や看護師確保対策に関する取り組みについて学修する 【事後学修：60分】看護師確保対策に関する医療現場での具体的な取り組みについてまとめる	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
7/1 火 1限	【授業内容】看護サービスにおける課題解決と提案：プレゼンテーション ・課題を解決するためのプロセスをふまえた提案を他者に伝えることができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：60分】討議した内容について他者に説明できるよう準備する 【事後学修：160分】これまでの学修成果を記述した上で、看護政策に関する課題レポートを作成する：課題レポート②	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師
7/1 火 2限	【授業内容】看護サービスにおける課題解決と提案：プレゼンテーション ・課題を解決するためのプロセスをふまえた提案を他者に伝えることができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修：60分】討議した内容について他者に説明できるよう準備する 【事後学修：160分】これまでの学修成果を記述した上で、看護政策に関する課題レポートを作成する：課題レポート②	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師

・教科書・参考書等

		教：教科書	参：参考書	推：推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	看護職者のための政策過程入門 第2版	見藤隆子 他	日本看護協会出版会	2017
参	私たちの拠りどころ保健師助産師看護師法	田村やよひ	日本看護協会出版会	2015
参	看護制度と政策	野村陽子	法政大学出版局	2015

・成績評価方法

【総括的評価】課題レポート①20％、課題レポート②50％、グループワークの取り組み状況30％の合計100％にて評価する。なおグループワークの取り組み状況は、出席状況及び、参加状況、政策提案の内容、プレゼンテーションにより評価する(第1回の講義時に説明する)。
【形成的評価】各回の講義において、アンケートフォーム(Googleform)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
・授業後のアンケートフォーム(GoogleForm)を活用することで、次回の授業前にフィードバックをする。フィードバックの方法として、質問や疑問についてはWebClassに解説を掲載する。
・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。
・授業中に課す課題レポートの提出は、WebClassを活用し、採点后にコメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師(別表3)：専門分野 看護の統合と実践
保健師(別表1)：保健医療福祉行政論

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(ELMO PX-10)	1	講義用資料投影